

たけのこ

2023年6月15日
自主学童保育さとのほりクラブ

お泊まり会 どうだったかな??

6月10日(土)~11日(日)、青少年の家までバスと徒歩で行って来ましたよ。初めての泊まりで心配していた1年生の保護者さんもおいらしたとしよう。様子を探りに「家に着いたとたん爆睡しちゃって」というお母さんも。いったいどんな体験をしたのでしょうか?

夕食作り 外での調理は慣れたモノの皆さん。青少年の家の外庭にある炊事場で、6つのテーブルにグループごとに分かれて、立ったまま野菜を切りました。(地味なモノでも、何の疑問もなく「切って!」と言われると素直にやってくれるさとのほりさんたちです!) 本番の時と同様、2グループずつに分かれてカマドを担当。ひき肉カレーが2つ、野菜スープが4-5つ。コンクリートのU字溝の上に金網をのせた「カマド」で、3年生がマッチで火をつけ、焚きつけ用まきで火が燃え移ったらドンドン燃やせ〜! 「これは燃えるぞ、爆弾〜!!」と、高学年男子軍団はすぐに「よく燃えろなモノ」を探し、行き、しっかり者の女子がウチワであおいで火を守る、という図。青少年の家で買った薪(1束600円!!)はあと1週間燃えつき、追加購入するも、やはりお湯は沸かず、人参もやわらかくならない。「太くてお刺身みたいな枝拾ってきて!!」おト〜!! 頼りかたのあるみなさんが庭の奥に散らばってスグにたくさん集めてきてくれ、ようやく煮あがりました。予定の時間には遅れちゃう〜!! という指のあせりが伝わるのか、高学年が手分けしてブルーシートを広げたり、カレーコッペル、スープをよそったり運んだり、それはそれはよく働いてくれました。お天気も雨が降らないくらい「いたたまれず」かできて「ごちそうさま」まで持ってヨカッタ〜! 大きなお皿に盛り盛りカレー、外で食べるとおいしい!! たんたん、うす暗くなってきて、炊事場の明かりが目立つようになってこう、1年生の女子「ねえ、ここに泊まるの??」「ん? お外じゃなくてお部屋の中だよ〜」と伝えるとニコリ、安心した様子。ホント、初めてで何かわからないのか、よく観察しないとわからないぞ。

お風呂 今年は「研修室」で、唄の練習と、お風呂お手伝りに来て下さった さん、さん、さん、さんたちとゲームして楽しみました。いつもと違う場所でみんないっしょに居るだけで大興奮。前半・後半に分かれてのお風呂タイムを行う間も、お父さんたちはじゃれついたり、もつれついたり。お風呂の中では、男子は恒例の何か「かあり」伝統は引き継がれたようです。女子は、1年生の子の長い髪を洗ってあげたり、背中を流してあげたり、を2年生のお姉さんがやってあげていました。6年生は全体の目配りを自然体でやっていて、さすがでした。

お知らせ

● 6月17日(土)は保護者懇談会です

リアル参加は 3年・4年・6年です
※キャンプ用品でお下がりにまわせるモノがあればお持ち下さい。次市に使って頂けるとSDG's!!
川用クワ、ラッシュガード、雨がっぱなど人気です!

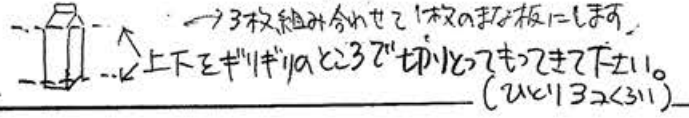
※議題は一斉メールの通りです。
PM6:20~9:00ころまで。

キャンプについては、保護者の役割分担やグループ分けなど、大事なお話いっぱい!! リアルの方もオンラインの方も、ぜひ参加して下さい。

● 7月2日(日)七夕祭に出店決定!!

お祭り時間はAM10:00~12:00 詳細は保護者会へ
野川こども文化センターの七夕祭が復活。さとのほりもイベントAさん中心に出店します。高学年の子どもたちにはお手伝いしてもらいたいと考えているので、短時間で作業してね〜♪

● 牛乳パックを集めていきます



寝るとき お泊まり会のメインはなんと「ひとり寝るか!?!」です。荷物の整理は何かにできて、果てはおうちの人と隣り合って寝られるか? 泊まったお部屋はせんいれ室。低学年は高学年に「布団敷き」を手伝ってもらって、歯みがきを終わるとゴロン。暑いから「シーツだけいい! 毛布いらない!」という人も多かったです。各部屋では指から寝る前のお話をしてもらっていました。



「これい話し〜」「いやだ〜」「電気明るくないと寝れない!」「暗くないと眠れない」などなど、各部屋でいろいろかけひきがあったようですが、廊下の照明のみを消して、部屋半分だけ点けたり...。ひとりで寝られるか、と心配していた1年生も、ドキドキながらもストーンと寝て朝までぐっすり。夜中にトイレに行くとき起きた くん、半分おぼけながらおぼろげな目で、トイレの入口まで歩いてきて、「ほうこたよ」「うん」とそのまま部屋に戻ろうとして「あれ、トイレ行くんだよね?」「あ、そうだった」。お母さんが恋しくおあちゃん2年生のとなりで寝ていた3年生 くん「ねえ、ほう、牛乳パックをあげるから大丈夫だよ。この人形も持ってけば?」、泣きそうになっちゃった2年生には くんが「淋しい気持ちわかるよ。でもこうやっていっしょに泊まると、夜を過ごすことも大事だよ」と、親身になって切々と伝えていました。この3年生二人に限らず、困っている仲間を、何とか一生けんめい励ますようしている姿があちこちにあつて、うれしくなりました。自然と助け合える関係ができていて、ことごとくいいな、と感心しました。高学年の人たちは、自分達でミーティングも済ませ、寝る用意もして、常識的な範囲で遊んで楽しんで寝たようでした。保護者の皆さんの感想はいかがでしたでしょうか? お家の女子に静かだよねとか...? かんぽんは子どもたちをいっしょにほめてあげて下さいね。さあ、次はキャンプでがんばりましょう!! (※たけのこの荷物と 父母がさとの家にお手伝りに来て下さいます、ありがとうごさいます)